

受け継ぎ、新たな Step up を!

校長 岡田 哲

44 日間の夏休みを終え、子どもたちの元気な挨拶と笑顔が学校に戻ってきました。今年の夏は、例年以上に全国各地で猛暑となる日が多かったり、線状降水帯による大雨が発生したりしましたが、大きな事故や事件に合うこともなく過ごすことができました。しかし、残暑による熱中症も心配される場所であり、予防対策においても細心の注意をしていきたいと考えております。

さて、コロナウィルス感染症が5類に移行とはなりましたが、総合体育大会やコンクール・美術展など、感染対策を講じたうえで各会場にて熱のこもった取り組みが見られました。保護者の皆様にも参観していただくことができ、生徒たちにとって大きな励みとなりました。3年生は、3年間の活動を終え部活動を引退することとなりましたが、どのチームも精一杯やり遂げたことによる充実感を得ることができたのではないのでしょうか。

すでに体育館や校庭などでは、来年の総合体育大会やコンクールに向け、新チームによる練習が始まっています。また、9月末には生徒会役員選挙が行われ、1、2年生から新役員が選出されます。部活動や生徒会活動などの様々な活動の中心は、1、2年生が引き継いでいくこととなりますが、これまで3年生が築いてきた伝統を受け継ぎ、みつわ台中学校の新たな Step up に繋いでほしいと願っています。

3年生は、中学校卒業後の進路を考え、決定していく大切な時期を迎えます。5年後、10年後の社会的・職業的自立を目指し、将来の生き方などについてじっくりと考えるとともに、中学校3年間の学習内容をしっかりと身に付けることで、新たな「自分探し」「自分創り」に結びつけてほしいと願っています。

Second Stage に向けて

校長 岡田 哲

7月を迎え、日ごとに暑さが増してきました。明日から、いよいよ長い夏休みに入ります。夏季休業前の全校集会において、私から次のような話をしましたので全文を記載します。

明日から、44日間の夏休みに入ります。4月に新年度がスタートして、およそ4か月が経過しました。この4か月の皆さんの学校生活はどうだったのでしょうか。

少し振り返ってみたいと思います。先生は、今年1年のスローガンとして「いじめのない、思いやりのある学校づくり」を掲げ、ことあることに君たちにメッセージとして投げかけてきました。どうでしたか？自分で意識して行動に結びつけることができましたか？先生は、行事や部活動など学校生活の中で、皆さんの思いやりのある行動を目にすることができました。みんなは、人に対してやさしく接することができる子どもたちなんだな。と、改めて思いました。「意識が変われば、行動は変わります。」ぜひ、Second Stage では、生徒や先生も含め、多くの皆さんが「思いやりの心」を意識し、行動としてたくさんの方の表現を見せてくれることを期待しています。

さて、しおりにも書きましたが、夏休みに向けて3つ【コツ】のことをお話します。

1つ目は、「夏休み全体を見える化」してみよう!です。この夏休みに「どうしてもやりたい」「学校があるときは時間がなくてできない」ことを、ピックアップし実際に行動に移すことです。そして決まったら、実現するためのステップを踏むことです。ぜひ、チャレンジしてみてください。

2つ目は、生活リズムを崩さないようにしよう!です。生活リズムの乱れは、体調のみならず、やる気の崩れにつながり、せっかくの夏休みが台無しになるだけでなく、夏休み明けの生活にも影響を及ぼします。

3つ目は、夏休みを通して継続して取り組むものを見つけよう!です。自分の好きなことは継続できても、苦手な事や面倒くさいなど思うことは、なかなか継続できないものです。そこにチャレンジしてほしいのです。なんでもよいのです。毎日、時間通りに起きる。自分の食器は自分で洗う。毎日、ランニングをする。1つ目の【コツ】と合わせてもよいかもしれません。ちょっと頑張ればできる!ことに挑戦してみてください。「おっ!私もやればできるじゃん」と自信が付き、違った自分の姿が発見できるはず。先生も、毎日何らかしらの運動をすることに挑戦してみます。

この3つの【コツ】は、思いやりの心にもつながります。なぜなら、「自分に厳しく、人にやさしい」取り組みばかりだからです。【コツ】を上手に使い、思いやりの心を持って「自分創り・自分探し」の旅を続けてください。夏休み明けに、一回りも二回りも成長した皆さんに会うことを楽しみにしています。

「思いやりの心」と一言で言い表しますが、目に見えたり形に残せるものではありません。子どもたちと共に成長しながら、生徒一人ひとりが「みつわ台中で学べてよかった。みつわ台中の仲間と一緒に過ごせて良かった」と思えるよう。全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

それぞれの行事に見られた思いやりの種

校長 岡田 哲

日に日に暑さが増し、プールの学習に目を向けると子ども達の元気な声が響き渡っています。

さて、6月6日(火)から3日間、3学年の修学旅行に出かけてまいりました。自分たちで立案した班活動計画表にそって、京都の街並みを楽しそうに活動している姿が微笑ましくもありました。その中でも、班別活動で班員がお土産を買うことに夢中になり、時間を費やしてしまっても嫌な顔を見せずに待っていたり、他の観光客の落とし物を時間が押している中、皆で交番に届ける姿が見られました。最終日に、発熱者が多く出てしまいご心配をおかけしましたが、予定通りの行程を進めることができ、中学校生活での大切な思い出を心に刻むことができたと思います。

15日(木)には7組さんがげんき交流会に参加しました。自分の番では真剣な眼差しで取り組み、友人の番では声援や助言を行う場面が多々見られました。21日(水)22日(木)には2日間にわたり、2年生の職場体験を実施しました。各事業所に出向き、一生懸命に仕事の大変さ大切さを体験し学びました。園児のパワーに翻弄されながらも、笑顔を絶やさずに接する姿が見られました。各行事において、今は小さい種ではありますが「思いやり」という大きな花を咲かせてくれることと、期待が膨らみます。

また、3年生にとって最後の大会となる総合体育大会が、7月8日（土）から始まります。大会やコンクールに向け、各部では、これまで以上に熱の入った練習が繰り広げられています。大会開催のために努力してくださった方々、支えてくださったご家族への感謝の気持ちを胸に精一杯戦ってほしいと思います。

新しい時代を築け!みつわの子らよ

校長 岡田 哲

紫陽花が咲き始める季節となりました。過日、天候にも恵まれ5月27日（土）に第47回体育祭を開催しました。開催に向けた各係の準備、各学級の学級旗制作、学年練習や予行の様子を見ていると、生徒が一体となり、行事を盛り上げようとする意気込みを感じました。

今年のスローガンは「遅えよ 時代 ～この体育祭 一味違うぜ～」。このスローガンを基に、私は、開会式で二つのメッセージを生徒に送りました。一つ目は、スローガンの意味でもある「自分たちで新しい時代を築いていこう」ということです。これからの時代は予測困難な時代と言われています。子どもたちが時代(次代)を切り拓いていくためにも、学習や行事に主体的に取り組む、自分たちでどのような未来を創っていくのか考えてほしいということ。二つ目は、今年のテーマとして「いじめのない 思いやりのある学校づくり」ために、思いやりのある新しいみつわ台中学校を創り上げてほしいということ。一人一人の考えや人権を大切に、人に対して優しさをもって接してほしいと考えています。当日、生徒たちは様々な場面で、いつもとは一味違う取り組みを見せてくれました。応援席が学年単位ではなく、各学年の兄弟・姉妹学級で構成されているため、本年度は特に学年を超えて応援する姿が見られたり、自分の学年には兄弟・姉妹学級がいなくても他の学級を一生懸命応援する姿に微笑ましさを感じました。また、長縄とびでは、負けてしまった悔しさを越え、自分たちの頑張りを称えあう場面がどの学年・どの学級にも見られました。私が一番心を打たれたのが、7組の長縄とびでの際、回し手の3年生二人が終わった後に7組の生徒にハイタッチをしていました。その3年生に理由を聞いたところ「自然にハイタッチが出てしまいました」とのことでした。「こんな凄い生徒がいるんだ。この3年生達が中心となれば、自分たちの手で、思いやりのある新しいみつわ台中が創れるな」とうれしく思いました。

そして、今月は、大きな行事として、もう一つ生徒総会を実施しました。生徒総会は、今年度の本校生徒会活動の方針や生徒会予算などを決定する大切な行事です。総会ですので、全校生徒全員が体育館に集まり、意見を交換するのが本来の形ですが、感染対策のため、体育館から各学級へのテレビ放送を通じての実施としました。各学級からは、提案に対する質問や前向きな意見が出されました。本年度の目標として「みっ中プライドをもち、自ら考え行動できる生徒会」をかがけ、その目的の一つに、一人一人の生徒が安心して安全な学校を創るために、学校の現状をどのように改善し、新しい学校づくりをするか、自分の問題として捉え、行動する育成をする、とありました。具体的に、ボランティアの提案報告が行われ(体育祭前のボランティアには予想をはるかに超えた生徒が参加してくれました)、自治意識の高まりを感じることができました。まだまだ始まったばかりですが、これからが楽しみだと思える行事となりました。今後も、生徒一人一人が自分の力を最大限に生かせるよう全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「常に、学び続ける人に」

校長 岡田 哲

令和5年度は、1年生170名、2年生145名、3年生165名、計480名の生徒と42名の教職員でスタートを切ることができました。本年度も、コロナウィルスの感染が下火とはいえ、予断を許さない状況ではありますが、4月に元気な生徒の声とともにスタートを切れたことは嬉しく思います。

本校は昭和52年に都賀中学校から分離・独立し、みつわ台・殿台町・源町・東寺山町・原町を学区とし、千葉市37番目の中学校として開校され、本年度47年目を迎えます。その歴史と伝統を受け継ぎ、地域の方々からも愛されている学校です。今まで築いてくださった土台を大切にしながら、現状を見極め、新しい社会の流れを読み、より地域に根差した学校を目指していきます。

みつわ台中学校では、「心身ともに健康で人間性豊かな生徒の育成」を教育目標とし、生徒一人ひとりが、様々な教育活動の中で「わかった・できた」の感動体験を目指し、学びを進めていきたいと思えます。

その中で、『生きる力』の育成での具体化を目指し「何を、どのように学ぶか」「学びによって何が達成されるか」の視点で学習を展開されるために授業の充実を目指していきます。

また、その土台となるのが人権尊重の教育と考えます。始業式・入学式では私から、人の心や体を傷つけたり人の嫌がることは絶対にやめてほしい。また、そのような行為や発言を見て、傷ついた人や嫌がっているのに目をそらして自分には関係ない。自分が嫌な思いをさせられたらいやだ。と考えるのではなく、相手の気持ちを考え、自分にできる少しの勇気を持ってほしいという話をしました。いわゆる「いじめです」いじめは、いじめを受けた子どもの心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼします。そしていじめは、当事者だけでなく、周りの友人・家族・学校など全ての人の幸せを奪います。いじめは、どの子にも、どの学校にも起こりうる問題です。私は、いじめのない、安全で安心して生徒一人ひとりが楽しく学び、自分を成長させられる学校づくりを目指します。

これらのことを念頭に、「常に学び続ける」生徒の育成を目指します。また、新しいスタイルの学校教育に積極的に取り組み、質の高い教育を目指していきたく思います。そして、生徒が卒業するとき「みつわ台中に来てよかった。みつわ台中で学べてよかった。これからも、成長するぞ」と思えるような学校づくりを生徒と教職員、そして保護者や地域の皆様と共に推進していきたく思っています。

今後とも、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。